

Campus Today



大志を胸に歯科医療の道を邁進

卒業証書・学位記授与式

日差しの中に春の気配が感じられる3月6日(木)、2013年度松本歯科大学(歯学部・大学院歯学独立研究科)・松本歯科大学衛生学院の卒業証書並びに学位記授与式が本館講堂において挙行され、歯学部、大学院歯学独立研究科(博士学位取得者)、衛生学院歯科衛生士学科の卒業生合わせて66人が式に臨んだ。

式は午前11時から校歌斉唱で始まり、参加者全員で校歌一あ、渺々の蒼穹に」を高らかに謳いあげた。角帽に黒いガウンをまとった歯学部卒業生は一人ずつ呼名されて登壇し、笠原悦男副学長から卒業証書・学位記が手渡された。卒業証書・学位記は、国立印刷局で特別に印刷され、同印刷局謹製のB3判用紙の上部中央に日本国の紋章の五七の桐があらわれている貴重なものである。晴れやかな表情で卒業証書・学位記を手にした歯学部卒業生は、長谷川博雅歯学部部長の前に進み、学位取得の証として角帽に付けられた紫色のタッセルの位置が右から左に移された。



呼名されて登壇し卒業証書・学位記を授与される卒業生

精勤賞の表彰が行われた。矢ヶ崎 雅理事長・学長は「皆さん、卒業おめでとうございませう。歯学部卒業生にとつては6年間の長い道のりでしたが、ようやく巣立ちのときを迎えました。良き歯科医師になる前に良き人間たれ、という本学の教育方針がありますが、社会に出てもしっかり挨拶をし、謙譲の精神を忘れず、母校の名誉と品位を守って羽ばたいてほしい」と励まされた。

衛生学院の卒業生には「大勢が皆勤・精勤に努力され、立派に思います。今後は歯科衛生士として社会に貢献してください」と、大学院博士學位取得者には「歯科医学発展のためますます

すのご活躍を期待します」とはなむけの言葉を贈られた。

また、本学特命教授で安倍内閣官房参与である飯島 勲常務理事は、祝辞として「日本は高齢者人口が増え社会は変化していきますが、歯科医は訪問診療などでマーケットを広げることが大事。卒業後は母校との連絡を密にし、校友会とのつながりを大切にしてください。困ったときは矢ヶ崎理事長・学長が必ず手をさしのべてくれます」と校友会との連携を呼びかけた。

卒業生を代表してチャールストン・コード・解さんは「学友同士支えあい課題を克服することで全日程を終え、今日の目を迎えることができました。未熟

だった入学時に比べ人間性においても成長することができたのは、創立者・矢ヶ崎 康先生をはじめ諸先生方のご指導の賜物であり、ご厚恩は終生忘れません。私たちは歯科医療に携わる者として第一歩を踏み出します

が、今日の医療に求められる多様性、柔軟性に対応すべく、本学で培った知識・技術、自己研鑽の精神をもって前進していきます」と、決意を述べた。

午後5時からは体育館の特設会場において卒業・修了祝賀謝恩会が開かれ、ホテルオークラ東京のケータリングサービスによる料理に舌鼓を打ちながら、卒業生たちは恩師や学友たちと名残惜しいときを過ごしていた。

本学病院に小児科開設 塩原正明教授が診療を担当 小児の健康増進の一翼担う

本学病院は4月1日(火)に小児科を新設し診療を開始する。診療は1月に本学に臨床教授として赴任した塩原正明先生が担当し、歯学部の小児科学教授も務める。

小児科を担当いたします塩原正明と申します。前任地は長野県立こども病院血液腫瘍免疫科でした。小児血液腫瘍を専門とし、小児内分泌代謝疾患の診療も行ってまいりました。このような素晴らしい環境のもとで診療を行う機会をいただいたことに感謝をいたします。

医療圏として塩尻市を中心とし、朝日村、山形村の一部などが対象となります。本医療圏においては小児科医が足りない現状であることを伺っていますので、小児科開設により少しでも当地のお子様の健康の維持増進の一翼を担い、ご両親、ご親戚や地域の皆様に信頼いただける小児医療を提供できればと考えています。

最初は外来診療からスタートし、各種疾患や乳幼児健診、予防接種などに対応します。重症者や急変時は最寄りの入院加療が可能な施設への転送を行います。外来対応が落ち着いたら、入院患者の受け入れも準備していきたく考えています。地域の複数の先生からも入院診療の要望がありました。病棟はゆつたりとした空間で眺望もすばらしく病気療養にはとてもよい環境です。当地における小児科のニーズに対応した特色や専門性を打ち出すことで地域の要望に応えていきます。歯科大学病院における小児科という特殊性を踏まえた、歯科領域と関連した臨床研究、情報発信なども将来的な課題です。

本院小児科開設にむけて、関



小児科を担当する塩原先生

係する方々とともに準備を進め、診察室や処置室のための改修を終え、小児科を担当して下さる看護士さんの近隣小児科における研修も行ってまいりました。準備の段階で小児科特有の設備や物品、成人診療科とは異なった対応が必要になることもありましたが、関係者の皆さまにご協力いただき、このたび開設の運びとなりました。

また実際診療が始まると、院内への感染持ち込みの機会が今まで以上に増える予想されます。予測し得ない良いこと悪いこともあると思いますが、もうる含めて温かく見守っていただければ幸いです。今後とも助言、ご忠告等いただけますよう、よろしく願います。

(小児科学 教授 塩原正明)

お天気歳時記

元日本気象協会調査役
お天気コンサルタント
あり賀 淳し

ロンドンで昨年の4月、1912年に沈没したイギリスの豪華客船タイタニック号の沈没間際まで船上で演奏をつづけていた楽団のバイオリンが見つかったと発表された。避難する乗客を落ちつかせるために楽団が最後まで演奏を続けたエピソードは世界中に伝えられていた。

102年前の4月14日の大惨事だった。同船は喜びあふれる乗客をのせて一路ニューヨークに向けて走り続けていたが、氷山に衝突した。濃霧のため視界不良だったという。海難事故としては世界最大と、広辞苑にある。タイタニック沈没100年にあたる2012年の4月、奇跡の生還者、日本人の細野正文さんの手記が公開されたニュースが流れ、タイタニックの事故が新たに話題となった。

霧の季節といえば秋だが、海霧はこれから夏にかけて最も多い。第二次大戦中、キスカ島から敵前を無血撤退した日本軍もこの海霧を利用していった。

今年も海霧を発生させる南の暖気が入りやすい季節となった。しかし列島の4月はサクラの季節の到来である。ヤマザクラは終わり、ソメイヨシノが咲き、次いでヤエザクラが咲き、お花見シーズンに入る。サクラはさまざまな思いを刻み、列島をいま華やかに彩りながら北上している。緑も日毎に濃さを増して行楽の足も広がってくる。

しかし「寒の戻り」の不意打ちに注意が必要。

モンシロ蝶の軽やかな円舞につづいて花曇りの空にはツバメが白い腹を見せてすいすいと飛びかう。渡り鳥のなかで、まっさきに渡ってくる春の使者だ。

主張

エイプリル・フールと「笑い」の効用



エイプリル・フール(4月馬鹿)といふのは、4月1日には嘘をついてもよいという風習がある。一説によれば、16世紀にフランス国王シャルル9世が1月1日を新年とする暦を採用したときに、それに反発した人びとが旧暦の新年に近い4月1日を「嘘の新年」として馬鹿騒ぎをしたことが起源だといふが、確証はない。なお、英語の「April Fool」は「だまされた人」のこと

と、正しくは「April Fools Day」と呼ばなければならぬ。こうした面白い風習は、ヨーロッパやアメリカではすっかり定着して、イギリスの『タイムズ』のようなお堅い高級紙でさえも、たとえば「ビッグベンがデジタル化」「空飛ぶベンギンの発見」などといったもつともらしい冗談記事が、この日には登場する。

わが国でも同様な「おふざけ」が登場することがあるから、この日の新聞は眉につばをつけて読んだほうがよさそうだ。過去に話題となったものとして、「ゴルフパチヨフ元ソ連大統領やサッチャー元英国首相が日本政府の顧問に就任」(朝日新聞)、「東京タワーが傾く。原因は足元のおなら」(東京新聞)、「スマトラ地震の余波で沖縄南端に新島が出現」(東京新聞)

「笑い」の効用の第1は、健康の大敵であるストレスを緩和できることにある。痛みや苦しみ、精神的な不安や重圧感、さまざまな病気の原因となりがちな、笑うこと

「笑い」が自律神経を介して脳の扁桃体を刺激し、免疫機構を活性化させることで、がんの発生を防ぐNK細胞の働きを高めることも、実証されている。さらに、落語や漫才などで大

笑いを誘うことで、糖尿病やリウマチなどで長年にわたって苦しんでいた患者の症状が緩和したという医学実験の結果も、權威ある医学雑誌などに次々と報告されているところだ。

「笑い」の有用性については、「笑いの威力」「笑って長生き」「笑い免疫」「ピンコロリ7つの秘訣」など、さまざまな本で取り上げられているから、興味がある方は図書館や書店で探してみよう。



毎日楽しく過ごすことをお勧めしたい。具体的に言えば「日常生活のなかでも常に笑いを忘れない」ということである。

「笑い」の効用の第1は、健康の大敵であるストレスを緩和できることにある。痛みや苦しみ、精神的な不安や重圧感、さまざまな病気の原因となりがちな、笑うこと

「笑い」が自律神経を介して脳の扁桃体を刺激し、免疫機構を活性化させることで、がんの発生を防ぐNK細胞の働きを高めることも、実証されている。さらに、落語や漫才などで大

笑いを誘うことで、糖尿病やリウマチなどで長年にわたって苦しんでいた患者の症状が緩和したという医学実験の結果も、權威ある医学雑誌などに次々と報告されているところだ。

「笑い」の有用性については、「笑いの威力」「笑って長生き」「笑い免疫」「ピンコロリ7つの秘訣」など、さまざまな本で取り上げられているから、興味がある方は図書館や書店で探してみよう。

台湾の教育部関係者が本学を表敬訪問 法人役員らと和やかに意見交換



歓迎昼食会で挨拶をする林副組長(中央)

3月12日(水)、台湾の駐日窓口機関である台北駐日経済文化代表処教育組より、林世英副組長(教育副参事官)が本学を表敬訪問し、法人役員など大

学関係者と会談した。林氏は日本の文部科学省にある台湾教育部の一等書記官文化専門員を歴任され、2012年より日本と台湾の教育連携な

どにご尽力されている。このたびの訪問は、2011年に本学が台湾で交流会を開催した折、ご臨席いただきご祝辞を賜った林氏より大学見学の希望があり、今回実現したものである。

歓迎会では、川原一祐学監がこれまでの台湾留学生の実績を説明した上で、本学は今後も留学生受入れを継続し台湾で活躍できる医療人を養成していく意向であり、そのためにも学業成績優秀な留学生に対し同国教育機関より奨学金などの支援情報提供を依頼した。

林氏からは「歯科の単科大学に多くの台湾人留学生が在籍していることに驚いた。また日本の国公立大学で学ぶ台湾人留学生の多くが代表処の存在を知らないの、今後は留学生と密に連携を取っていききたい。奨学金

実行委員長の川本拓君(第3学年)は、「松濤祭は、私たちが学生間の連携、業務の分担を通して、やるべきことへの責任感などを身に付けるチャンス

であると思います。そして、何よりも来場された方々、地域の方々との交流によって大切な人間関係を学ぶことができ

第30回松濤祭は4月29日開催 川本拓君を執行委員長にテーマは「飛翔」

2014年度の松濤祭は、4月29日(火・祝)に観桜会と同時間開催する。伝統や先輩たちの情熱を引き継ぎ、さらに盛り上げていこう、という思いから、テーマは「飛翔」。

学生による恒例の模擬店や、クイズ大会、ビンゴ大会、ミスコンテスト、衛生学院生によるブラッシング指導などを企画している。

当日は春休み期間中で、希望された留学生との面談は実現しなかったが、数カ月以内に改めて機会を設ける予定である。

市民公開講座では植田教授が本学病院のインプラント相談会

「飛翔」のイメージを演出するために、口内法X線撮影法やパノラマX線撮影法、全身用CTなどの各画像検査法における基本的な正常解剖像と留意点を解説した。ミニレクチャーでは、本学歯科衛生士の廣瀬絵美さんが、インプラントセンターで行っているプロフェッショナルケアを紹介した。



実行委員長の川本君

市民公開講座で 植田章夫教授が講演

長野県歯科インプラントネットワーク



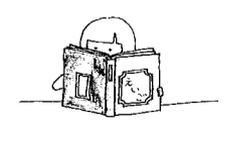
講演する植田教授

長野県歯科インプラントネットワークの第2回ミーティングが3月9日(日)、松本市内のホテルで開催された。同ネットワークは、歯科インプラント治療に携わる多種の歯科医療関係者が知識や臨床技術の習得向上をはかり、県民に安全な治療を提供するために昨年2月に設立され、本学病院インプラントセンター長・植田章夫教授が世話人代表を務めている。

教育講演では、本学歯科放射線学講座の杉野紀幸講師が「インプラント画像診断の基礎」と題して、治療を安全で確実に行うために、口内法X線撮影法やパノラマX線撮影法、全身用CTなどの各画像検査法における基本的な正常解剖像と留意点を解説した。ミニレクチャーでは、本学歯科衛生士の廣瀬絵美さんが、インプラントセンターで行っているプロフェッショナルケアを紹介した。

病院や医院などで使われるカルテが電子化されてから久しくなると思いますが、私も患者としてクリニックなどに行ったりするとき、お医者さんが診療中にコンピュータに向かっていろいろなデータを入力したり照合したりしている場面に出会うようになりました。

カールソンの英語!!!



カールソンの英語!!!

更なる合理化と効率化を推進

—第169回理事会にて新年度事業計画等決定—

学校法人松本歯科大学の第169回理事会、第114回・第115回評議員会が3月27日(木)に開かれ、2014年度の事業計画および予算案、役員および役職教員人事、諸規程一部改正、などの案件が審議され、いずれも満場一致で承認可決した。



新年度事業計画を説明する廣瀬國基理事

役職教員

	学監 川原一祐		学長 矢ヶ崎雅		大学院歯学独立研究科長 総合歯科医学研究所長 高橋直之
	病院長 高木宣雄		歯学部部長 長谷川博雅		教務部長 中村浩彰
	医科院長 前島信也		学生部長 平岡行博		衛生学院長 笠原浩
	学長補佐 宇田川信之		図書館長 川上敏行		

理事会報告

【主な会議事項】

- 2014年度事業計画について
- 2013年度補正予算案および2014年度予算案について
- 学校法人松本歯科大学諸規程の一部改正等について

なお、2014年度事業計画の基本方針・目標は次のとおり。

【基本方針】

今から50年前の1964年、東京オリンピックが開催され、その8年後の1972年に松本歯科大学が開学した。そして6年後の2020年に2度目の東京オリンピック開催が決まったことは存じのとおりである。国内情勢は、一昨年度安倍内閣が

発足し、円安やアベノミクスにより、物価上昇によるデフレ脱却や景気回復を目指しているが、4月の消費税増税を控え先行きは不透明である。このような状況のなか、本学は少子化の急速な進展や歯学部受験者数の減少などにより在学者数が減少し、法人運営は厳しい状況となっていたが、学費の見直しなどにより、ここ数年は志願者数が増加し募集人員を充足できる状況となっており、安定的な法人運営へ向けた取り組みは成果を上げつつある。しかしながら、本法人の帰属収入をもち、消費支出を充足し得るには、さらなる合理化と効率化の努力を引き続き進める必要がある。今年度は建学の理念に基づき、教育・研究・臨床における目標実現のため、次に示す重要課題を中心として事業を展開す

る。教育・研究については、社会からの要請に応えることのできる優秀な人材を育成し、大学の教育研究水準の向上のため、大学の質の保証が強く求められており、本学として自己点検評価活動を進め、教育・研究の質保証のための改善に取り組む。学生募集については、効果的な募集活動を引き続き実施し、本学の持つ利点を積極的にアピールしながら、募集人員を充足させるための様々な取り組みを実施する。また、留学生募集については、学校訪問や現地説明会等により入学者数が増え、成果を上げている。現地に父母会を設立するなど、大学と父母の連携により、今後、留学生の学習面、生活面支援体制のさらなる強化を推進する。病院事業については、消費税増税に伴い、さらなる採算性の

改善と事業関連費用の効率化が必要となっており、歯科部門、医科部門の効率的な運営と病院購買部門の強化改善に努める。管理運営部門については、引き続き支出全般について見直し、コスト削減に努める。また、業務委託については委託内容の検討、人員体制の整備により外部委託が必要な業務以外の委託を中止し経費削減に取り組む。なお、本年度から新たに私立大学等経常費補助金の申請を行い、教員・研究条件の維持向上と経営の健全化を計りたい。以上の方針を踏まえ、本法人の安定的な運営を実現していくこととする。

【事業計画(目標)】

Ⅰ. 教育・研究

- ① 建学の理念に基づき、人間歯学部
- ② 国際的ニーズに対応するた

め、海外からの入学希望者が受験しやすい環境や入試制度を整備するとともに、入学後の留学生支援体制を整備する。② 歯科医師としての専門知識・技能習得における礎となるよう、基礎知識・基本技能を理解するための教育学習支援システムを強化する。③ 自発的学習と自己研鑽を促すため、自らの知識・技能・態度を客観的に判断する力と、向上心を身につけさせる。④ 心身のケアを図り、既存施設を有効に利用することで、勉学に集中できる最善の環境づくりに努める。⑤ 将来の人生設計を変更し歯科医師を目指す社会人や他学部から歯学部へ編入学を希望する学生にも対応した入試制度とする。⑥ 国際的ニーズに対応するた

め、海外からの入学希望者が受験しやすい環境や入試制度を整備するとともに、入学後の留学生支援体制を整備する。② 歯科医師としての専門知識・技能習得における礎となるよう、基礎知識・基本技能を理解するための教育学習支援システムを強化する。③ 自発的学習と自己研鑽を促すため、自らの知識・技能・態度を客観的に判断する力と、向上心を身につけさせる。④ 心身のケアを図り、既存施設を有効に利用することで、勉学に集中できる最善の環境づくりに努める。⑤ 将来の人生設計を変更し歯科医師を目指す社会人や他学部から歯学部へ編入学を希望する学生にも対応した入試制度とする。⑥ 国際的ニーズに対応するた

め、海外からの入学希望者が受験しやすい環境や入試制度を整備するとともに、入学後の留学生支援体制を整備する。② 歯科医師としての専門知識・技能習得における礎となるよう、基礎知識・基本技能を理解するための教育学習支援システムを強化する。③ 自発的学習と自己研鑽を促すため、自らの知識・技能・態度を客観的に判断する力と、向上心を身につけさせる。④ 心身のケアを図り、既存施設を有効に利用することで、勉学に集中できる最善の環境づくりに努める。⑤ 将来の人生設計を変更し歯科医師を目指す社会人や他学部から歯学部へ編入学を希望する学生にも対応した入試制度とする。⑥ 国際的ニーズに対応するた

2014年度予算

2014年4月1日～2015年3月31日

(単位 円)

収入の部		支出の部	
科目	予算金額	科目	予算金額
学生生徒納付金収入	2,052,000,000	人件費支出	1,848,000,000
寄付金収入	45,000,000	教育研究経費支出	1,732,000,000
補助金収入	367,000,000	管理経費支出	388,000,000
資産運用収入	255,000,000	借入金等利息支出	60,000,000
事業収入	1,542,000,000	借入金等返済支出	1,200,000,000
借入金等収入	0	施設設備関係支出	200,000,000
その他の収入	1,962,000,000	その他の支出	700,000,000
前年度繰越支払資金	2,668,607,000	予備費	200,000,000
		次年度繰越支払資金	2,563,607,000
収入の部合計	8,891,607,000	支出の部合計	8,891,607,000

め、海外からの入学希望者が受験しやすい環境や入試制度を整備するとともに、入学後の留学生支援体制を整備する。② 歯科医師としての専門知識・技能習得における礎となるよう、基礎知識・基本技能を理解するための教育学習支援システムを強化する。③ 自発的学習と自己研鑽を促すため、自らの知識・技能・態度を客観的に判断する力と、向上心を身につけさせる。④ 心身のケアを図り、既存施設を有効に利用することで、勉学に集中できる最善の環境づくりに努める。⑤ 将来の人生設計を変更し歯科医師を目指す社会人や他学部から歯学部へ編入学を希望する学生にも対応した入試制度とする。⑥ 国際的ニーズに対応するた

